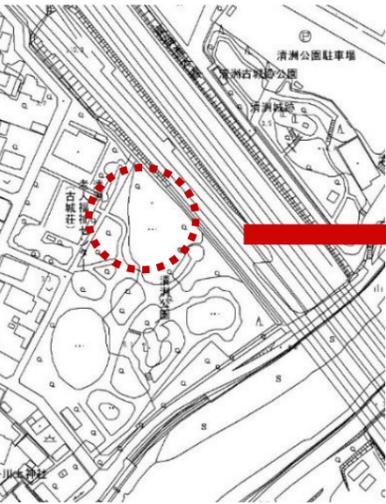


清洲公園への木製遊具等の導入・美濃路活性化事業（イメージ）

■ 分科会（産業部会）委員の意見を受けて、今後、令和4年度末までに、市で前向きに検討することとした取組のイメージは以下のとおり。

	(1) 清洲公園への木製遊具等の導入	(2) 美濃路活性化事業（飴茶庵の活用方法に係る再検討）
目的	① 公園立地の強み（新幹線沿線）を補強 ② 公園利用者の滞在時間の延伸	① 地域活性化（創業支援） ② 美濃路の景観保存
事業イメージ	① 木製展望台、② 木製ベンチ、③ 木製複合遊具の整備・設置 	市で管理する飴茶庵（美濃路沿いの無料休憩施設）について、民間事業者に運営を委ねること、 <u>美濃路活性化と創業支援を推進。</u>  ① 業務のスキームを設計（市役所内の調整を含む） ② 事業者募集要項の作成（賃料を安価に設定するなど、参入しやすい環境を設定） ③ 事業者募集・選定 ④ 選定事業者と委託契約を締結（民間事業者による運営開始）  ※①～③は、金融機関の助言等を得ながら推進する想定
整備予定地	(展望台整備予定地)  (現場写真) 	(位置図)  (外観) 
施設概要	清洲公園：日比谷公園等を手掛けた近代公園の第一人者・本多静六氏の設計による恩賜公園（明治時代に皇室領となっていた）として開園。城郭考古学的には後期清須城の本丸跡地とされる。信長公像が有名。（開園：大正11年 / 面積：18,069.05㎡）	飴茶庵：平成20年に市民から土地建物の寄贈を受け、市が改修。現在、無料休憩所として管理・運営（住所：清須市土器野238番地 / 木造二階建て延べ床面積46.908㎡）